

✿ コミュニティスクール（学校運営協議会）が3年目を迎えました ✿

コミュニティスクールとは、学校運営に関して協議をする「学校運営協議会」を設置している学校のことを指し、市内の小中学校・高校全23校が指定されています。緑丘小学校は、今年度で3年目となりました。今年度も「より良い学校づくり」を目指し、子どもたちのためにできることを話し合い、保護者、地域の方の力をお借りしながら取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



✿ 令和3年度学校運営協議会委員 ✿

会長	林 幹郎（SC21 みどり会長）	
副会長	土江 英幸（PTA 会長）	
委員	山形 晴子（元小学校長）	桑岡 邦裕（民生・児童委員）
	中村 和年（下河原自治会長）	秋山 勝敏（自治協議会会長）
	山本 哲郎（土曜学習コーディネーター）	井村 正明（みどり OTON-A 会代表）
	八束 伸明（東中学校教頭）	徳田 達郎（教頭）
CSディレクター	川崎 法子	

✿ 第1回学校運営協議会 ✿

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5月に書面での開催となりました。各委員は、令和3年度学校経営方針を書面で確認し、教育目標の「人間性豊かな、たくましく生きるみどりの子の育成」と基本方針を承認しました。質疑応答の一部をご紹介します。

・コロナの影響と今後の予定、対策について

→今後も国・県・市からの通知に合わせて、今後の行事などの予定を変更していくことになります。感染予防対策については、手洗い消毒、飛沫防止パーテーションの利用など再度、丁寧に行っていくことを職員と確認しています。

・信頼される教職員について

→教職員が、真摯に物事に向き合い、常に高い意識をもって目の前の子どもたちの教育にあたるのが何よりも大切だと考えます。自身の人権意識や倫理観を磨き、保護者や地域の方から信頼を得ることができるよう頑張っていきたいと考えます。

✿ 第2回学校運営協議会 ✿

12月2日(木)緑丘小学校多目的室で開催されました。令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果を中心に学校の状況についての説明があり、その後意見交換を行いました。一部の内容をご紹介します。

【学力調査結果・平均正答率】

国語 66.4% (全国平均 64.7) (伊丹市 65)

算数 71.9% (全国平均 70.2) (伊丹市 71)

- ・算数の問題は記述問題が多く、国語力も必要とされた。今後は国語と同じく、自分の考えを記述表現するための力を養う授業も必要である。
- ・今後の対策については、子どもが苦手な分野である文法を、「ことばの学習」の時間の中で充実させる。また、水曜日の放課後に実施しているチャレンジ教室、朝のモジュール学習の充実、さらには家庭学習の充実も図る。1日の家庭学習時間の目安は、1・2年生は30分、3・4年生は60分、5・6年生は90分である。



✿ 緑丘小学校の子どもたちの様子を取材しました ✿

新型コロナウイルスの影響により未だ制限のある中ではありますが、子どもたちはマスク越しでも笑顔いっぱいに学校生活を楽しんでいました。各教室には、感染予防対策として、アルコール消毒や除菌スプレーが置かれていました。業間休みには、子どもたちは運動場で元気に遊び回っていて、少しずつ普段通りの生活に戻りつつあることを感じ、嬉しくなりました。今回は、現在の学校生活について、どのように感じるかなどを取材しました。



【保健室より】

「昨年、学校生活において行動が制限され、子どもたちの運動能力が低下した影響なのか、今年度は怪我をする子が多いですね。これまで当たり前だった体育の授業や業間休みに思いっきり遊ぶことが、いかに大事なのかということが分かりました。」



【各教室より】



机は班ごとの向かい合わせから全て前向きに



グループ討議の際はパーティションを設置



自分の食器しかさわらない。当番は必ずビニール手袋をつける



机は前向き、パーティションを設置して黙食

【子どもたちの声】

「マスク生活には慣れたけれど、本当はマスクをつけない生活を送りたいな。」

「もし、自分たちがワクチンを打てるようになったら、早く打って安心したいです。」

「室内が密になる環境は不安だけど、先生が定期的に換気してくれるので安心！」

→マスクをつけている方が安心という意見もあり、子どもたちもそれぞれに感じ方が違うのだと感じました。先生は、「自然にルールを守れる子が多く、コロナ禍の生活にもきちんと対応し、その生活に慣れていく姿は本当に素晴らしい。」と、おっしゃっていました。